

普及活動情勢報告（令和５年４月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

花きの安定生産を目指して ～花卉部会現地検討会～



今後の方針を話し合う
生産者

４月４日、JA 高知県れいほく花卉部会が現地検討会を開催し、生産者、JA、普及所計 12 名が参加しました。

各生産者のほ場を互いに巡回しながら意見交換が行われ、生産者らは各ほ場でユリや草花等の栽培管理について情報を交換し、普及所からは、葉焼けの発生原因等について説明しました。

複数の若手農家から、かん水管理、病害虫対策等の質問がされ、技術向上に意欲的な姿勢が見られました。その後、今後の取組について意見交換を行い、生産者、JA で規格や PR 方法などが共有されました。

今後も普及所は、JA と連携して生産者同士の意見交換の場づくりにより、嶺北産花きの高品質安定生産を支援していきます。

経営の発展を目指して ～経営支援活動～



農家と一緒に苗を
確認する普及職員

普及所は JA と協力して、経営発展を目指す農家を対象に、収量等の目標を策定し経営改善を目指す活動を支援しています。

令和５年は５品目 14 戸を対象として、３月から面談により今年の目標と課題を確認し、栽培が始まってからは巡回により技術指導を行っています。

ミニトマトの対象農家に対しては３月に面談、４月に巡回により育苗、本圃準備状況の確認をし、土壌消毒手法についての検討や、設備投資の事業活用について話し合いました。

今後も普及所は、対象農家の経営改善と栽培管理技術の向上に向けた取り組みを支援していきます。

水稻奨励品種決定調査の播種を行いました



播種作業に集中！！

４月 18 日に、普及所は水稻奨励品種決定調査にかかる播種作業を行いました。

今年度から新しく‘越南 304 号’が試験品種として追加され、嶺北で調査する品種は合計 5 品種になりました。れいほく営農経済センターが消毒や浸種、催芽を行い、芽切りされた粳を 1 穴 4 粒ずつ播種し、今後、調査ほ場の生産者が定植まで育苗します。

普及所は定植後に JA と共に生育調査や収量調査を行い、各品種の特性や品種間のデータを収集していきます。

D-D含有土壤くん蒸剤でネコブセンチュウを撃退！



薬剤を灌注しています

3月11日、(株)大豊ゆとりファームの甘長とうがらし栽培予定ハウスで普及所の指導のもと、D-D含有土壤くん蒸剤を処理しました。

これは前作でのネコブセンチュウの発生を受け、その対策のため初めて処理するもので、ゆとりファームの担当者からは「これによりセンチュウ被害による生育不良を解決したい」との声が聞かれました。

普及所は今後、J Aと情報共有をしながら病害虫の状況など生育状況を見て効果を確認していきます。